



図書館だより

2023年11月号 NO. 408
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16



～本は身を守る～

つらい時、悲しい時、みなさんはどうしますか？私の場合、意識したわけではありませんが、眠る前に習慣にしている読書に救われたことが何度もあります。心の隅にとげのように刺さった心配事を、布団の中に入ってあれやこれやと考えてしまう、そんなとき、「さて、何を读もう？」と数冊積み上げている中から気持ちを切り替えて選んで読み始めます。最初はなかなか集中できなくても、ページをめくるうちに物語の中に入り込んで夢中になり、ああ、もうこんな時間。時には数ページで早々に眠くなることもあります。

おすすめは、実用書より、物語です。実用書は、現実の入り込む余地があり、効果はあまり期待できません。その点、物語は想像が広がり、世界中のどこへでも、どの時代へも連れて行ってくれます。時には推理小説、大好きなホラー小説、積んである本の中から好みを選びましょう。翌朝、目が覚めると、不思議なことに思いのほか気持ちが軽くなることが多いのです。

悩みや悲しみは考えてもどうにもならないことがあります。そんなとき、本は、みなさんの頼りになる味方。あなたを守ってくれます。仲良く人生の山を一緒に乗り切っていきましょう！

by ビクトリア



《 図書館カレンダー 》

■ = 休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時

☆ 2023年11月 ☆ 12月 ☆



日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



★ YABOOKご紹介 ★

◇「しあわせガレット」◇

一般書 913.6 ナカ 中島 久枝／著 角川春樹事務所

派遣社員の主人公 詩葉は、契約期間が終わり、二年ほど働いた会社をあとにします。

自分のこれまでの人生を思い起こしながら歩く帰り道、路地裏で“ポルトボヌール ガレットとクレープの店”という何とも美味しそうなお店を見つけます。

バターと砂糖のまじった甘い香りに誘われて、アンティークな雰囲気のお店をながめていたら、突然扉が開いて・・・

ブルターニュの伝統的なガレットを作るこだわりの女主人、店に集まる個性的なお客さまたちとのやり取りを通して、詩葉は自分を見つめ直していきます。

誰しも少なからず何かを抱えて、なかなか思い通りになることばかりじゃないけれど、ちょっと一息。ゴーギャンの『ブルターニュの少女たち』で芸術に触れ、ガレットやクレープなど美味しそうな料理を想像しておなかを満たす。そんな楽しみ方もできるおすすめの本です。

by すもも



図書館員のひとこと

実りの秋、芸術の秋、読書の秋、食欲の秋、スポーツの秋、いろいろな秋がイメージされます。みなさんの秋はどんな秋でしょうか。私は、「絵本の秋」という感じで今回は、本棚で見つけた秋色の素敵な絵本を紹介します。絵本と聞くと小さい子のイメージですが、大人でも読み応えのあるものがたくさんあります。きれいな絵が描かれているものは、ほっこり癒されます。今年の秋は、ぜひ大人の方も絵本を読んでみてください。

「もいのかくれんぼう」

児童書 Eモリ 末吉 暁子／作 林 明子／絵 偕成社

お兄ちゃんと公園で遊んだ帰り道、けいこは、「つまんないの」と口をとがらせ歩いています。そんな、けいこにお兄ちゃんは「ようい、どん！」と先に行ってしまいました。あわててお兄ちゃんを追っていくけいこですが、生け垣をくぐったら、見たこともない森の入り口に立っていました。そこはいったいどこなのでしょう。お兄ちゃんに追いつくことができるのでしょうか。

※森の中が黄色の秋色に染まり、太陽の温かさと夕方になってくる静けさを感じながら、森の動物や森の妖精の楽しそうな様子が伝わってくる絵本です。ところどころには、隠し絵もありよく目を凝らしながら見ないと見えない絵もあります。みんなは見えるかな？1978年出版の絵本です。昭和世代の方には懐かしさも感じる本です。

by チッピー



◇「パンダといっしょに学ぶ世界のことわざ」◇

一般書 388パ 高氏 貴博／写真 マイクロマガジン社

「座っているライオンより歩きまわるキツネの方が良い」(トルコ)
「最初のパンケーキはだんごになる」(ロシア)

さて、このことわざは日本ではどんなことわざになるのでしょうか…??

かわいいパンダの写真とともに、世界と日本のことわざが紹介されています。パンダの様々な表情の可愛さに癒されながら、世界のことわざを学ぶことができる一冊です。



by オレンジ



◇「夜と霧 新版」◇

一般書 946FV ヴィクトール・E・フランクル／著 池田 香代子／訳 みすず書房

「心理学者、強制収容所を体験する。」という文から、冒頭ははじまる。

フロイト、アドラーに師事したウィーン生まれの心理学者が、アウシュビッツへ送られ、バイエルン地方にあったダッハウの支所に送られ、言葉にならないほどの悲惨さ、苦しみの中で、生きる意味を問う場面がある。

「わたしたちが生きることからなにを期待するかではなく、むしろひたすら、生きることがわたしたちからなにを期待しているかが問題なのだ。」

読み継いでいかなければ。強い意志をもって。

by ミカゲ



◇「ビアトリクス・ポター物語 ピーターラビットと自然を守った人」◇

児童書 726ウ キャティ・ウーリー／文 ジニー・スー／絵 中井 はるの／訳 化学同人

世界中で愛され続けている「ピーターラビット」は、どのように生まれたのでしょうか。作者のヘレン・ビアトリクス・ポターは、1866年、英国のロンドンに生まれました。子どもの頃から水彩画を描くことやスケッチが好きで、身近な動物や植物をたくさん描きました。また、本を読むことや文章を書くことも好きで、物語を創作したり、暗号を考えて日記を書いたりしていました。

1893年、ビアトリクスは、飼っていたウサギを主人公にした物語を書いて、知人の息子さんに贈りました。これが、「ピーターラビットのおはなし」が本になるきっかけとなったのです。そして…。

by みーやん



◇「センニンじいさんしゅぎょうちゅう！」◇

児童書 913ヨC 横田 明子／作 おしの ともこ／絵 国土社

足首をひねったせいで明日のサッカーの先発メンバーに選ばれなかったリョウマ。悔しくて友達に当たり散らしたり パパとママには、「選ばれた」と嘘もついてしまいました。次の朝、グラウンドに行きたくなくてぐずぐず歩いていると「わてはセンニンや」と名乗るおじいさんに出会います。おじいさんにいろいろな術をかけられリョウマの気持ちも変わっていきます。さて、リョウマは、みんなの応援に行けたのでしょうか？



by ミッケ!

「おはなし会」のお知らせ

🍁 図書館おはなし会 🍁
11月1日(水)・8日(水)・15日(水)・22日(水)
午前10時～10時30分

🍂 しゃぼん玉の英語おはなし会 🍂
11月4日(土) 午前11時～11時30分

🍁 エプロンひろ子さんのエプロンシアター 🍁
11月11日(土) 午前10時30分～11時

🍂 ケーミンの英語のおはなし会 🍂
11月19日(日) 午前11時～11時30分

🍁 ぽっぽのおはなし会 🍁
11月29日(水) 午前10時～11時

すべて参加自由・無料です。
場所は1階絵本コーナーです。



「図書館バードウォッチング」を開催します!

11月5日(日) 午前10時～11時30分

* 図書館前ウォーキングロードで行います。

(雨天の場合は、ひだまり交流テラスで行います。)

* お申込みは不要です。当日、図書館にお越しください。



11月企画展示紹介

2階企画展示

“ありがとう”
～伝えたい想い～

1階企画展示

ラッキー
☆☆☆

カフェ前展示

ちきゅう みらい
地球の未来を

かんが
考えよう